

公共デザインは誰が担うのか

篠原 修

1. 戦前(Ⅰ) — 直轄 (インハウスエンジニア) の時代

- ・ 市街橋梁 ; 樺島正義、小池啓吉、成瀬勝武、福田武雄
- ・ 鉄道橋梁 ; 阿部美樹志、田中豊
- ・ ダム ; 吉村長策、佐野藤次郎、中島鋭治、小野基樹、山口文象 (建築)

2. 建築の自己完結化

- ・ 構造家の育成 (佐野利器、欧米建築家からの脱皮)
- ・ デザイナー不在の土木

3. 戦前 (Ⅱ) — 設計事務所 (民間)

- ・ 4つの橋梁設計事務所 (樺島、関場、阿部 (建築も)、増田)
- ・ フリーランスのエンジニア (佐野、小池)
- ・ 大学 ; プロフッサーアーキテクトのハシリ・田中、福田、中島

4. 戦後 (Ⅰ) — 戦災復興から高度成長

- ・ コンサルタントの登場 ; インハウスエンジニアの手伝いと久保田豊
- ・ 設計事務所ではなく何故コンサルタント?、本来のコンサルタントとは?
- ・ 設計の標準化 ; エンジニア自らのステータスを下げる行為
- ・ 設計者匿名の時代の始まり (建設省や本四公団設計?、世界の常識からの逸脱)

5. 戦後（Ⅱ）―バブルとその崩壊

- ・デザイナーの参画；大野美代子と首都高
- ・プロフェッサーアーキテクト；中村良夫の太田川、篠原修---
- ・バブル時代の装飾設計と景観不要論

6. 戦後（Ⅲ）―景観法と文化的景観

- ・設計事務所（アトリエ系, エンジニアアーキテクト）の登場と大手とのコラボレーション
- ・文化財とデザインの時代

7. 公共デザインの今後

- ・インハウスエンジニアの時代にはもう戻れない
- ・事業主体のエンジニアの役割とは？

参考文献

- 1) 都市・田園・自然の景観施策に関する法令の略年表
- 2) 篠原修；近代市街橋のデザイン、吉田伸之、伊藤毅編；伝統都市 3、インフラ、東大出版会 2010
- 3) 篠原修；土木という仕事、積算資料、2007. 2~4
- 4) 篠原修編；ダムをトータルにデザインする、山海堂、2007